

朝六小だより

朝霞市立朝霞第六小学校

令和元年5月31日(金)

6月号 児童数 909名

TEL:048-461-0410

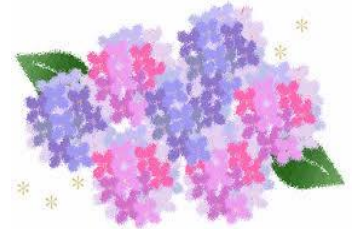


【学校教育目標】「心豊かに自ら学ぶたくましい人間の育成」

思いやりのある子 自ら学ぶ子 元気な子

【めざす学校像】「学ぶ喜びと感動のある学校」

【朝霞六小の合い言葉】～花あり 歌あり 笑顔あり～



自治的能力を育てる「事前」「事中」「事後」のサイクル

校長 木村 直美

5月22日(水)に、児童集会を開きました。本校にある11の委員会の代表が、それぞれの委員会活動の内容や全校へのお願いなどを工夫して発表していました。学校での生活は、単独では成立せず、学級で授業を受けているだけの毎日ではありません。登校から、朝の行事、健康観察、休み時間、給食、清掃、体育的な活動や用具の整理、動植物の世話や管理、学校図書館の活用、校内の掲示、学校行事、下校など、あらゆる場面で、子供たちが係・委員会活動として仕事を分担していて、小さな学年の児童にとっては、上級生の補助的な活動が欠かせないものになっています。「今まで一生懸命やってきてよかった」「緊張したけど、みんなに伝わったからよかった」「人前で話す自信がついた」など、児童集会を終えた代表児童からの声がありました。何とも言えない笑顔を見せます。学年、学級の枠を越えて全校的な視野に立って活動するからこそ責任や大変さはあるものの、その分、活動を成功させたときの達成感や自分への自信は大きなものになります。今年度はスタートしたばかりですが、それでも胸を張って、毎日の取組を発表できることはとても立派なことです。

「よりよい学校生活づくりに向けて、仲間と共に、よさを生かし、課題を解決しようと集団の一員として自分の責任を果たし、自分の意思を集団に反映させ、自主的・実践的に行動し、成長を実感して次に生かす力」が、小学校教育における自治的能力の定義です。自治的能力を引き出し育成するためには、「事前」「事中」「事後」に適切な指導・援助が必要で、これこそが大人の仕事だといえます。

この各段階は、「事前」:先見性(見通す力)、「事中」:協同、協働、実践性(果たす力)、「事後」:啓発性(見出す力)とそれぞれで育てる力があります。「事前」では、行事や活動への意欲を喚起し、目標と手立てをもち活動していく。「事中」では、活動の中間の振り返りを行い、活動の質を向上させていく。「事後」では、行事や活動の成功を振り返り、成果と課題を明確にしていく。そして、最後に行う「後付け」が、次の行事や活動の「事前」の足場になるというサイクルで「自治的能力」を伸ばしていきます。

学校行事、校外学習、係・委員会活動といったあらゆる場で、子供たちの「自治的能力」を育ててまいります。子供たちの頑張り、困難を乗り越えようとする姿勢をぜひ認め、励まし、賞賛していただきたいと思います。



6年修学旅行(華厳の滝)



児童集会(委員会紹介)



1年校外学習(城山公園)と同行の学校応援団

